



”ようこそ！文化が花開くふじのくに芸術回廊へ！”

SPAC公演「天守物語」

東アジア文化都市とは
日本・中国・韓国の3カ国において選ばれた都市が一年間を通じてさまざまな文化芸術イベントや文化交流を実施する事業です。文化芸術、スポーツ、食文化、産業文化など、様々なイベントを集中的に実施します。静岡県から日本文化の魅力を世界に発信し「文化首都」の使命を実現してまいります。

「美味ららら」ふじのくにガストロノミーツーリズムへの扉を開くサイトがオープン！

日本一多彩な食材を誇る静岡県は、いつ訪れても旬の食材を楽しむことができます。サイトでは、静岡の美味しさを体感できる4つのモデルコースを紹介しています。

美味ららら
静岡ガストロノミーツーリズム
<https://shizuoka-gastronomy.jp/>
QRコード

浜 名 湖：水の食彩を巡る旅。
伊豆半島：海と地の食彩を巡る旅。
遠州三山：歴史と信仰の食彩を巡る旅。
駿 府：東海道の歴史と食彩を巡る旅。

東アジア文化都市 2023 静岡県 Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA

「文化の首都 静岡県」イベント (一部) の実施状況

7月1日～3日
富士山世界遺産登録10周年記念国際シンポジウム
「世界の聖なる山と富士山」
会場/富士市文化会館ロゼシアター
世界遺産に登録されている世界の山岳の研究者等による講演や討論を行います。※参加無料 (事前登録制)

5月2日
東アジア文化都市2023静岡県 春の式典
会場/グランシップ (静岡市駿河区)

6月7日～11日
シズオカ [KAGU] メッセ2023
会場/ツインメッセ静岡北館

7月7日～9日 市制100周年記念イベント
会場/キラメッセぬまづ
沼津市制100年の歩みとこれからへつなげたい沼津の誇り、沼津愛いっぱい様々なコンテンツで市制100周年をお祝いするイベントを開催します。

↑左から順に梅州市副市長、静岡県知事、全州市副市長
川勝平太知事と都倉俊一文化庁長官 (映像)、中国梅州市、韓国全州市の代表者によるあいさつから始まり、各都市の文化公演が披露され、静岡県は、駿府城公園にてSPAC-静岡県舞台芸術センター特別公演の「天守物語」を上演しました。

その他のイベントはこちらから (東アジア文化都市2023静岡県HP)

あなたのその気持ち、ふじのくにへ届けませんか？

～静岡県内の自治体へのふるさと納税のご紹介～

第1回 静岡県「ふじのくに応援寄附金」

静岡県では、ふるさと納税を「ふじのくに応援寄附金」と呼んでいます。ふじのくに応援寄附金は、寄附金の活用先を「防災力の強化」や「世界遺産富士山の保全管理」など22の取組みからお選びいただけます。一定額以上の御寄附をくださった方には、「しずおか食セレクション」「ふじのくに新商品セレクション」「しずおか花セレクション」「グッドデザインしずおか」認定品等から厳選した品のうち、希望する品を贈呈いたします。

ふるさと“ふじのくに”の取組みに貢献したい、応援したいという皆様からのご寄附をお待ちしております。

今年新たに追加された返礼品を2つご紹介します。

寄附金額2万円 生しらす生桜えび紅白セット

冷凍生桜えび30g×8袋 冷凍生しらす100g×5パック
静岡県漁業協同組合連合会
大井川港で水揚げされた桜えびを買付した日に急速凍結した「駿河湾産生桜えび」と静岡県、御前崎港・吉田港で水揚げされた当日に急速冷凍(CAS凍結)を行った鮮度良い「生しらす」です。生姜醤油・わさび醤油などでお召し上がり下さい。

寄附金額2万円【冷凍】駅弁バラエティセット

桃中軒の人気駅弁5種を冷凍駅弁セットにしました。

お好きな時にレンジで温めてお食事出来ます。

①しずおか健康生活応援弁当K-1 ②港あじ鮭
③富嶽あしたか牛すき弁当 ④鯛めし ⑤幕の内弁当

ふじのくにの誇り ～関西で頑張る静岡県出身者①～

大阪の大動脈・御堂筋の生みの親 第7代大阪市長 関一(せきはじめ)



静岡県出身者が大阪の街並みを作った 大阪市長に関一が就任するまで

大阪の「都市大改造計画」を打ち出した第7代大阪市長の関一の生まれは大阪ではなく静岡県の伊豆でした。一橋大学を卒業後、大蔵省(現財務省)勤務を経て、小学校の教師であった父と同じ教職の道歩みます。新潟市立商業学校では、23歳の若さで教諭と校長を兼任。さらに高いレベルの商業学を求めてベルギーへと留学し、帰国後は交通論や商業政策の講義を大学生に行っていました。そんな関を大阪へと呼んだのが第六代大阪市長の池上四郎です。「高級助役には学識を持った人物を」という池上の要請を受けるかたちで、関は助役就任を承諾します。1923年には市長に就任。池上市長の政策をさらに発展させた「都市大改造計画」を打ちだします。その計画のメイン事業が『御堂筋の拡幅工事』だったのです。

道こそ街の動脈

「都市大改造計画」のメイン事業『御堂筋の拡幅工事』

御堂筋の拡幅工事は、当時の常識から言えばありえないほどの大事業でした。拡幅以前の御堂筋は、道幅6メートル、北の淡路町から南の長堀まで約1.3キロメートルの狭く短い道でした。その御堂筋を幅44メートル、南北に延びること約4キロメートルの道にするという関市長の考えに、市民は「市長は船場の真ん中に飛行場でもつくる気か」と肝をつぶしたそうです。しかも100年先を見据えていたという関市長は道路の下に地下鉄を走らせるという構想も抱いていました。そして、その構想は、1933年5月20日の梅田心斎橋間での御堂筋線開通により現実のものとなります。

御堂筋開通の背景と難工事

「街の発展を願って」地域住民へ理解を求め

御堂筋の拡幅工事には、さまざまな問題点がありました。まず、これまでに例をみないような大事業のため、工事にかかる費用は莫大。当初は国からの援助を期待していましたが、世界恐慌や関東大震災の余波を受け、国からは十分な予算が得られませんでした。また、道幅を約8倍にする工事なので、沿道の住民には立ち退いてもらわなければなりません。予算の大半は立ち退き料に支払われました。そこで、関市長が考え出したのが『受益者負担金制度』。これは、御堂筋拡幅後の沿道の商家にどれだけの利益が生まれるかを算出し、その額に応じた税金を前もって納めるというものです。これには市民も猛反発。立ち退きとともに市民の理解を得ることは困難を極めました。しかし、関市長は御堂筋の拡幅が大阪の発展のためにどれだけ有益であるかを市民に説き続け、理解を求めました。関係者も住民が立ち退きに同意してもらうまで、何度でも頭を下げて訪れたそうです。

二階建て道路建築と技術者泣かせの軟弱地盤

実際の工事にも難点は数多くありました。まず、大阪のような軟弱な地盤には、地下鉄のトンネルを掘ることだけでも大変な作業でした。トンネルマシンもない時代なので、壁となる場所に鋼矢板を打ち込み、中を露天掘りする方法を採用。鋼矢板を打ち込むために、ドイツから最新の4トン蒸気ハンマーを輸入したのですが、その打ち込み時の騒音・振動は相当なもので、付近の家屋は傾き、壁が落ち、地下水が枯れ果てたそうです。御堂筋にかかる堂島川、土佐堀川、長堀川、道頓堀川の4つの川にトンネルを通すことも困難でした。当時の記録によれば長堀川は水を全面的に堰き止め、残りの3つは半分ずつ堰き止めてトンネルを川の真ん中でつなぎあわせたそうです。工事事故も多く、土佐堀川で締切りが決壊した際には道路の一部が冠水し、市役所前の市電が不通となりました。

11年の工事の末に 徹底された綺麗な街並み

1937年5月11日。御堂筋は困難を乗り越えて開通の日を迎えます。開通当初は、市民が「飛行場か？」と笑ったことが本当のようにのどかな風景でした。現在のように自動車が頻繁に行き来する時代ではなかったため、当然といえば当然なのかも知れません。電線を全て地下に配し、イチョウ並木を植えたことも、多くの人に「のどかな道」という印象を与えたようです。シンボルとも言えるイチョウ並木は完成時に植えられたもので、淀屋橋南詰から難波までの区間に約800本があります。ちなみに梅田から淀屋橋北詰までにあるのはプラタナス並木です。全長約4キロメートルの直線道路と開放感のある道幅、そして自然溢れる並木道が、開通から86年経った現在でも、御堂筋を世界でも類をみないほどの美しい道としています。御堂筋の整備等、大阪の近代化を成し遂げた関一は御堂筋の開通を見届けることなく、1935年に現職のままこの世を去りました。東京高商教授時代より交通政策、社会政策の権威者として知られており、これらに関する深い学識と、助役時代からの政治家としての豊かな経験を合わせ、全国の都市行政をリードする秀れた理論的、実践的業績を残したと評されています。

「御堂筋の歴史」(大阪市) (<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000239175.html>)
「関一文書 一括(500点)」(大阪市) (<https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000008859.html>)を加工して作成

ふじのくに領事館レポート 私たちはこんなことをしています！

6月の予定

日本一長いことで知られる「天神橋筋商店街」で観光展を開催します！！
“魅力いっぱい”本州まんなか観光展

日時：6月16日(金)11時～19時
6月17日(土)11時～17時
場所：天神橋筋二丁目商店街 いこいの広場
(大阪メトロ南森町駅、JR東西線大阪天満宮駅3番出口すぐ)

関東甲信越静6県(静岡・栃木・群馬・新潟・山梨・長野)の観光展を開催します。静岡県ブースでは、大河ドラマや富士登山関連の特集を企画しています！各種パンフレットをたくさん用意して、みなさまのお越しをお待ちしております。※写真は昨年度の様子です



パンフレット配布状況

人気の観光パンフレットは？ 配布数ランキング！

JR北新地駅近くの「みちまちスクエア」で毎月参加している、「日本列島 心のふるさと観光展」の4、5月の観光パンフレット配布数を集計し、ランキングにしました。
第1位 静岡県観光ガイドマップ
第2位 しずおか元気旅(広域ガイドブック)
第3位 Mt.FUJI Area Guide(富士山周辺ガイド)

5月のイベント

新茶キャンペーン(販売会)

御来場ありがとうございました。暑い中の開催でしたが、新茶やフレーバー茶、新茶饅頭などを皆さんに購入していただきました。また、静岡茶の販売にご協力頂いた「篠矢茶舗」さんは、大丸梅田店地下1階にも店舗がございます。静岡茶は冷やしてもおいしいので、水出し緑茶で今年の夏を乗り切りましょう！



シン・大阪事務所、始動！ ～令和5年度新メンバー紹介～

地域外交・企業誘致担当
所長補佐：松本 哲哉(まつもと てつや)
前所属：静岡土木事務所
観光・物産・移住・広報・総務担当
主 事：長谷川 祐己(はせがわ ひろみ)
前所属：下田土木事務所



自宅を離れたのは入庁以来初めてで、自炊は学生以来。単身赴任で、家事は本当にしんどいと感じています。大阪にはこれまで数度しか来たことがなく、ようやく通り(東西)と筋(南北)で名称がついていること、向かい合った通りで町になっているのが分かってきました。業務は、企業誘致に、地域外交、物産展開、観光万博・・・と3人で何でもござれ。関西の方に、静岡をPRしています。富士山へのあこがれは相当なものです。週末は、市内を自転車で行ったり、電車なら京都、奈良、神戸も1時間で行ける。三重大城の高取城、宿場町の丹波篠山、合掌造りの美山や、プロ野球2チーム、サッカーJ1リーグ4チームの観戦もしたいですね。



3月まで伊豆・下田に住んでいました。大阪に転居して2か月が経ちましたが、自宅近くの某スーパーで深夜に投げ売りされていた超特価の刺身を地元の方々と奪い合った日々は昨日のこのように思い出されます。学生時代の4年間を京都で過ごしていましたが、大阪暮らしは初めてです。大阪の近くに住んでいたにも関わらずあまり来る機会がなかったため、この度の予想外の配属を驚きながらも内心嬉しく思っています。「下り坂、上り坂、まさか、大阪。」私の県職員人生において4つ目に訪れた坂、ここ大阪の地で静岡県の発展のために全身全霊で活動していきます。よろしくお願いたします。